

P13 地域と連携した森林官ハンターの3年目の取り組み

留萌南部森林管理署 首席森林官(古丹別、奥古丹) 小川 翼

取組の背景と1・2年目の取組

～取組の背景～

「エゾシカが防風林に棲み着いて近隣農家に被害を与えている」との情報があり防風林を調査したところ、足跡や角こすり跡などエゾシカの痕跡を確認。

防風林は、市街地や主要道路に近く、農地に隣接しており銃猟が困難な場所であることから、「囲いわな」等による捕獲を検討。

<1年目の取組>

- ・役場、近隣住民からの情報
- ・猟友会の意見聴取(安全な捕獲手法など)
- ・くくりわなや囲いわなの情報収集
- ・エゾシカの動向調査
(自動カメラの設置 右図 ① ~ ⑤ 5箇所)

<2年目の取組>

- ・自動カメラによる動向把握分析により
囲いわな設置時期選定: 4~5月 10~11月
- ・囲いわな設置箇所選定: 右図 ① 又は ②



3年目の取組 (囲いわなを設置)

令和元年5月

【苫前町有害鳥獣被害対策協議会総会の出席】

- ・国有林防風保安林内の囲いわな設置について事務局と協議
(構成員である猟友会との連携模索)
- ・囲いわな免許保有者の派遣、エゾシカの止めさし・残滓処理等

令和元年7月から

【防風林内におけるエゾシカ対策推進チームの打合せ】

- ・チーム内での役割分担
- ・協議会との協議内容
- ・留萌振興局への申請_有害鳥獣駆除申請
- ・地元警察・役場・近隣住民へのお知らせ
- ・囲いわなの設置
- ・囲いわな設置時の巡回
- ・捕獲従事者への協力依頼
- ・職員等の安全確保



令和元年10月4日

【苫前町有害鳥獣被害対策協議会との覚書締結】

- ・国有林防風保安林内の囲いわな捕獲実行が可能に
- ・協議会構成員である猟友会との連携
(囲いわな免許保有者の派遣、エゾシカの止めさし・残滓処理等)

令和元年10月17日

【留萌振興局からの有害鳥獣駆除の許可】

- ・国有林防風保安林内の囲いわなによる捕獲許可
令和元年10月21日から
令和2年3月31日までの期間
- ・後日、エゾシカ狩猟被害防止合同パトロールを実施(囲いわな設置箇所についても実施)



令和元年10月25日から

【囲いわな設置箇所の決定】

- ・時期については10月からであったが、許可申請の遅れでずれ込む
- ・設置箇所については、上図①の方がエゾシカの出現率が高かったが、①は囲いわな組立作業、設置等に十分な広さがなかったことから、当初予定箇所のうち、②に設置を決定

【エゾシカ誘因エサの試行】

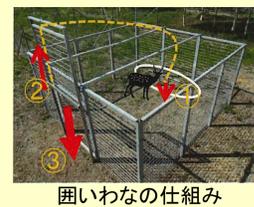
- ・エゾシカが塩分を取ることを考え、ヘイキューブに味付けをして囲いわな設置前に②に置き試行
- ・結果、味付けされたヘイキューブの食いつきが悪かったので、かぼちゃとどんぐりを追加し置くことに



令和元年11月5日

【囲いわな設置】

- ・地元猟友会の方とともに、囲いわなの向き等のアドバイスをもらい設置



【地元警察・地元役場・近隣住民へのお知らせ】

- ・囲いわな設置について、お知らせして理解と協力を得た
- ・地元警察(駐在所)が設置立会を行った



令和元年11月11日から

【囲いわなで捕獲開始】

- ・エゾシカは警戒心が強いいため1ヶ月程度落とし扉を作動せず開放予定だったが、すぐに囲いわなに入り込んだため、落とし扉のトリガー(引き金)を作動するようにして捕獲を開始

考察② 捕獲確率を上げるため、落とし扉のトリガー(引き金)を踏み板式にするなどの工夫が必要



令和元年12月27日

【囲いわなでの捕獲一時休止】

- ・落とし扉トリガー(引き金)の変更を行ったりして捕獲を実施してきたが、降雪期に入りエゾシカの数が増え一時休止に

考察③ 今回はエゾシカを捕獲できなかったものの、次期の捕獲を4~5月と想定、しかし、今期は積雪が少ないため、3月からの捕獲を検討

今後の取組

3年間の取組を踏まえ、今後は季節毎のエゾシカの動向分析により、春先の捕獲を目途に、近隣住民、地元猟友会、自治体など関係機関等と調整。

※引き続き、森林管理局や他署で行っている委託事業等の情報や地元猟友会の協力(止めさし・残滓処分)を得つつ「安全」に実施。

発表者のプロフィール



発表者(狩猟中)
若手ハンターへの安全な狩猟の指導も
行っています。

小学生の頃に参加した森林教室で感動し、現在の仕事を選びました。入庁して22年、地域に愛される森林官を目指し頑張っています。狩猟免許は20歳で取得し、現在21年目。毎年、有害鳥獣駆除等で100頭以上のエゾシカを捕獲しています。また、ジビエ料理やシカ角の加工品の開発なども趣味として研究しています。現在、所属する猟友会も若返ってきており、経験の少ないハンターへ、銃の矢先の安全確認・エゾシカ解体の技術・エゾシカの習性把握等、育成にも力をいれています。